



AICJ Newsletter

2018
Nov.

AICJ中学・高等学校 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目1-15 TEL:082-832-5037

本校は、2009年に西日本初の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

第3回広島ジュニア国際フォーラムへ本校から4名が選出

広島国際会議場にて8月下旬の3日間で行われました。同年代の高校生や大学生と共に平和の実現や核兵器廃絶に向けて課題を出し合い解決策を探りました。本校からは3人が参加しました。



「広島宣言」を読み上げている様子



集合写真

核兵器廃絶に向けての課題や解決策私たちができること、ヒロシマとしてできることなどを発表



《高2中下さんのコメント》

国籍や年齢を越え、互いにコミュニケーションを取っている様子を見て、自分も積極的に自分の意見や考えを、自信を持って多くの人に伝えていきたいと思いました。また、それぞれの平和への思いは共有しましたが、広島県内外でも原爆に対する意識や考え方が異なることを知りました。広島から被爆者の体験などを詳しく世界規模で発信していくべきであると実感しました。



IBカンファレンス2018 in 香港へ本校から10名が参加

夏休み中、1週間のスケジュールで、およそ20ヶ国 250～300人の世界のIB生が香港に集結しました。今回のテーマは、”Gender-Fair World”でした。グループで議論し、発表をしました。本校からはIB11（高2）の10名が参加しました。自分自身の意見を積極的に発言する各国の生徒の姿に圧倒されながら、様々な活動や、相互理解を図るなど、忘れられない貴重な体験となったようです。多くの生徒が、この経験を活かして地球規模の問題に対し興味関心を持ち、小さなことから挑戦・発信していこうという気持ちを新たにしました。



《IBカンファレンスとは》

毎年世界中で開催され、今年度はワシントンDC、ロッテルダム、香港の3会場で行われました。世界中のIBディプロマプログラム（DP）とIBキャリア関連プログラム（CP）の学生が集まり、国際社会に深く関与することを探求します。様々な経験を通して、より良い世界を構築していくために責任ある行動を促すことを目的としています。生徒は、世界的に関心の高いテーマについて議論し、解決方法を創造します。小旅行やレクリエーションの時間も確保され、仲間との関係を構築するとともに、国際理解とリーダーシップを育成します。



同じグループとなった他国の生徒たちと記念撮影（左：本校の中田さん）



毎朝1時間程講ホールで講演を聞きます。



トビタテ!留学JAPAN 本校の2名がカナダとフィリピンへ

このプログラムは、2013年に始まった産・官・学協働による大学生・高校生の留学支援で、今年は全国から2000名を超える応募があり、535名が採用されています。本校では、昨年(1名採用)に続き、2名(高2:浅井えりさん・高1:藤山尚樹くん)が採用され、この夏休みに、浅井さんは「国際ボランティア」コースでフィリピンへ、藤山くんは「アカデミック・テイクオフ」コースでカナダへ留学しました。



セブのボランティア団体に加わり、山村集落で生活する子どもたちに、モラルやルールについて知るアクティビティを生徒達が考えました。



セブの高校で、ヒロシマの原爆についてのプレゼンを行いました。(左が浅井さん)

トロント大学でのグループディスカッションの様子(手前左が藤山くん)

ユニタール広島青少年大使プログラム2018へ本校の5名が選出

このプログラムは、11月まで計4日間の日程で行われます。8月に行われた初回のワークショップは、ユニタール広島事務所で、隈元所長による20名の大使任命式とオープニングセレモニーがあり、その後SDGs(持続可能な国際開発目標)のワークショップを経験したり、プレゼンテーションスキルについてのレクチャーを受けたりしました。



20名の高校生大使と記念撮影



《高2山神くんのコメント》

ディスカッションを進めていくにつれ、緊張も程よく解け、SDGs実現に向けしっかりと考えることができました。大掛かりなことをしようとするのではなく、私たちが身近にできることはないか議論をし、プレゼンを完成させました。とても有意義な時間を過ごすことができました。このワークショップで体験したことを、今後の自分の活動につなげていきたいと思っています。

IBディプロマコースの2人の卒業生が来校



左から、クーパー校長・沖本くん・ブラウン先生



現在岡山大学3年生の今本琢くんが本校の学校説明会でスピーチをしてくださいました。彼は、今年アメリカのロードアイランド大学でのインターンシップで流体力学という物理の学問の理論を利用して環境問題を解決するための装置を開発する研究をしてきたそうです。岡山大学卒業後に、渡米して同大学大学院の研究室で研究を続ける予定です。今後の活躍が益々期待されます。

今春の卒業生沖本祥くんが、シンガポール国立大学の入学を前にして本校を訪ねてきてくれました。9月入学に合わせて8月に渡航しました。早速授業が始まったようですが、山のような課題とシングリッシュに苦労しながらも充実した毎日過ごしているようです。4年間は帰国しないと公言していましたが、今度会うときに成長した彼の姿を見るのが楽しみです。



本校での学校説明会でスピーチをしてくれた今本くん